

Figmaを使用した模写

Figmaを使用した模写をしていただきます。

HTML To Figmaで変換したデザインデータなので完璧ではないですがより実務に近い形で制作してもらいます。

課題説明

デザインデータの選定

HTML To Figmaで変換したデザインデータを元に模写をしていただきます。

まず、作業したいと思ったサイトが決まったら、デザインデータ化して問題なくできそうか確認。

確認して大丈夫そうであれば、参考するURLとデザインデータのURLを提出してください。

デザインデータのURLはFigmaのShareボタンを押すとモーダルが表示されるので左下の「Copy link」でURLのコピーができます。

いきなり最初から最後まで作るのは大変なのでどこまで作成するか調整、JSの実装も可能であれば実装するかも相談（デザインデータを元に作るのが最優先なので場合によっては実装しない場合も有）

レスポンス対応

レスポンス対応も行なってください。

ブレイクポイントはサイトによって違うと思うのでデベロッパーツールで要確認後、デザインデータに出カ。（ユーザーエージェントで画面幅に応じて表示するものが変わる場合は再度探してください。）

作業中のレスポンスの確認ですが、デベロッパーツールで端末最小値（320px）まで見てレイアウト崩れが起きてないか確認してください。

なぜ320pxかと言うと、現状一般的に使用されている端末の画面幅の最小値が320pxだからです。
（iPhone5、iPhoneSEなど）

次にローカルサーバー（localhost）を立ち上げてご自身のスマホで確認してください。

実務でも作成したものを検証機を用いて確認します。

以前JSの課題で使用した「Live Sever」だと確認できないのでPythonを使用してローカルホストを立ち上げるか、gulp-webserverを使うと良いです。

- Pythonインストール時は必ずPythonがすでにインストールされていないか確認
- gulp-webserverを使う場合、gulpを立ち上げた上で作業すると思うのでBrowsersyncも入れておくと便利です。（対象ファイルが更新されたら自動でブラウザ側のリロードを行ってくれるもの）

[Pythonのインストール方法](#)

[Pythonでローカルホストの立ち上げ：Mac](#)

[Pythonでローカルホストの立ち上げ：Win](#)

[IPアドレスの調べ方](#)

[localhost をスマホで確認する方法](#)

[gulp-webserver](#)

[browsersync](#)

提出期限

実務でも期日があるので作業期日を設けてもらいます。（作業期日は作業内容を相談する時に決めます。）

1日にできる作業時間、作業ボリュームを考慮して作業期日を設定してください。（提出すればOKではなく、修正する時間も考慮してください。）